

Street sports park Goka 整備事業

茨城県五霞町／令和2年竣工

道の駅に隣接してある土地区画整理事業地の調整池を若者向けのアーバンスポーツの広場 Street sports park Goka として整備することで、町の活気の向上と隣接する「道の駅ごか」の集客・売上げ向上への相乗効果を図るプロジェクトです。

区画整理地内の道路や公園を利用してスケートボードで遊ぶ若者が多いことから安全なアーバンスポーツの場所を提供するとともに、若者をターゲットにして SNS 等による五霞町の知名度向上を図ることを期待しています。設置しているスケートボードセクションやスラックラインのライン、ベンチ等は災害時に調整池の機能に影響を及ぼさないよう移動式タイプや取外しが可能となる仕様としています。

調整池全体を種目ごとに色分する床面塗装は、包括連携協定を締結している地元企業との協働で行い、パーク内に設置した「スラックライン」は、民間企業との連携で関東初の日本スラックライン連盟における認定パークとして整備しました。

事業概要

| | |
|--------|---|
| 所在地 | 茨城県猿島郡五霞町ごかみらい 10-1 |
| 土地面積 | 約 5,300 m ² |
| 事業主体 | 五霞町、(株) 染め Q テクノロジー、長永スポーツ工業 (株) |
| 管理運営主体 | 五霞町、(株) 五霞まちづくり交流センター |
| 主要施設 | スケートボードエリア (2,000 m ²)、3×3 エリア (1,000 m ²)、スラックラインエリア (500 m ²) こども遊び場 (1,500 m ²)、休憩所 (300 m ²) ※ ストライダーについては、令和4年中に設置予定 |
| 事業スキーム | 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、自己資金 など |

取組のポイント

- 路上でスケートボードを行う若者の安全性を問う声や、隣接の「道の駅ごか」の集客及び売上げの減少に対し、平常時は使われない調整池空間を民間企業との協働によりアーバンスポーツの広場として有効活用した
- 管理主体は五霞町、施設は無料開放で、隣接する道の駅も施設等の運営に協力している

